

平成29年度 東京都学力調査分析 小松川第二中学校〈社会〉

1. 結果の概要

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	都平均(%)	本校平均(%)
1(1)	1	地理(1)アイ	世界地図を用いて、地球上の位置をとらえることができる。	61.0	62.1
1(2)	2	地理(1)アイ	世界地図を用いて、地球上の位置をとらえることができる。	13.7	14.4
1(3)	3	地理(1)アイ	人々の生活の様子を自然と関連付けてとらえることができる。	75.3	82.6
1(4)	4	地理(1)アイ	世界各地の人々の生活について理解している。	83.5	85.6
1(5)	5	地理(1)アイ	世界各地の時差を資料からとらえ、まとめることができる。	52.0	72.0
1(6)	6	地理(1)アイ	世界各地の人々の生活と環境を意欲的に探究しようとしている。	94.2	76.5
2(1)	7	地理(1)ウ	南アメリカ州の地域的特色を正しく理解している。	67.8	77.3
2(2)	8	地理(1)ウ	南アメリカ州の地域的特色の理由について、考察することができる。	18.8	25.0
2(3)	9	地理(1)ウ	南アメリカ州の地域的特色を資料からとらえ、説明することができる。	35.9	32.6
3(1)	9	地理(2)ア	ヨーロッパ州の地域的特色を大観できている。	73.3	75.0
3(2)	10	地理(2)ア	ヨーロッパ州の地域的特色を理解している。	53.8	45.5
3(3)	11	地理(2)ア	ヨーロッパ州の地域的特色を理解している。	51.0	49.2
4(1)	13	歴史(3)	中世の歴史の流れを正しく理解している。	48.7	59.8
4(2)	14	歴史(3)	鎌倉幕府の特色を正しく理解している。	64.7	76.5
4(3)	15	歴史(3)	資料を基に、鎌倉時代の政治的特色を捉えている。	34.4	35.6
4(4)	16	歴史(3)	中世の歴史の学習を踏まえ、意欲的に探究しようとしている。	91.0	97.0
5(1)	17	歴史(2)(3)	古代の歴史的事象を正しく理解している。	38.9	56.1
5(2)	18	歴史(2)(3)	古代から中世における歴史的事象と外国との関わりについて、複数の資料を関連付け、捉えることができる。	76.8	82.6
5(3)	19	歴史(2)(3)	古代の歴史的事象について、資料を基に捉えることができる。	60.3	71.2
5(4)	20	歴史(2)(3)	古代から中世の外交の特色をまとめることができる。	45.2	50.8
6(1)	21	地理(2)イ(エ)	1965年の日本の交通網の様子を正確に取り出すことができる。	73.3	77.3
6(2)	22	地理(2)イ(エ)	1965年と2010年の日本の交通網の変化をまとめることができる。	66.0	70.5
6(3)	23	地理(2)イ(エ)	日本の交通網の整備に伴う輸送機関別の利用状況を推論することができる。	42.7	47.0
7(1)	24	歴史(4)	江戸時代における河川の状態を正確に取り出すことができる。	55.3	64.4
7(2)	25	歴史(4)	江戸時代における河川の変化をまとめることができる。	46.1	47.7
7(3)	26	歴史(4)	江戸時代における用水建設の理由を推論することができる。	44.4	47.0
				56.5	60.8

2. 結果に対する課題と改善策

〈カテゴリー内容(観点)別の結果の課題と改善策〉

・1(6)・・・自分の興味関心を、適切にテーマ「世界各地の人々の生活と環境」に結び付けられなかったことによるものと考えられる。ただ単に記憶する問題は答えられるが、考えて問題を解くことには少し抵抗があるとみられる。

・2(3)・・・資料中の単位を正確に読めなかったり、データを比較することができなかったりすることが原因とみられる。日頃から資料の読み取りに慣れる必要がある。

・3(2)(3)・・・降水量の違いや冬の季節風の特徴を雨温図から読み取れなかったり、都道府県名と位置がリンクしなかったりすることで誤答が発生したとみられる。定期的に繰り返すことが求められる。

【まとめ】

地球儀・地図などの資料の活用

地理・歴史ともに、視覚的な地理認識が乏しい。授業の中で地図・地球儀を日常的に活用し、地理情報を読み取り地域的特色などを理解する学習の定着を図る。

中間・期末考査・授業・長期休業中の宿題での振り返り

一・二年生中間期末考査後に授業で再テストを実施するなど、学習内容の振り返りに重点を置いて指導した。また、歴史・地理ともに授業中に過去の単元の復習問題を生徒に聞くような指導をした。折をみて学習内容の振り返りをしていく。

歴史の各単元ごとの大観、地理の各地域ごとのまとめを学び合いをさせながら実施する。

地図や年表などあらゆる資料を使って、個人ではなく小規模なグループなどで学び合い深め合う形で、大きな時代区分、大きな地域ごとの特色をつかませる指導をしていく必要がある。

全体を通して、知識理解の分野はできている。そうした知識を授業の中で確認しつつ、普段の授業で諸資料を用いた指導を積み重ねていき、大きな特色を大観し、自分の言葉で表現したり他のグループの発表を聞いて考えたりする力を身につけさせるようにする。